

調べる学習 進め方ノート

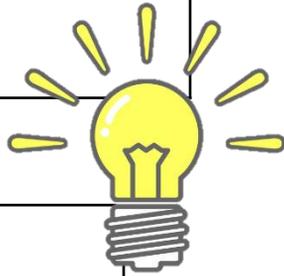


1、テーマを決めよう

	まなつ び	いちばん あつい国
うみ	なつ	アイス
ひまわり	あさがお	

① まんなかのマスに、言葉を入れてみよう！

② ①の言葉から、うかんだことを、ほかのマスに書いていこう！



この表に書いたことばを、くみあわせたり、新しく表を書いたりして、どんどんイメージをひろげよう！

自分の知りたい、調べたいことが見えてくるよ。

	ひるがお	
朝にさく	あさ がお	つるが 長い
	色は青	

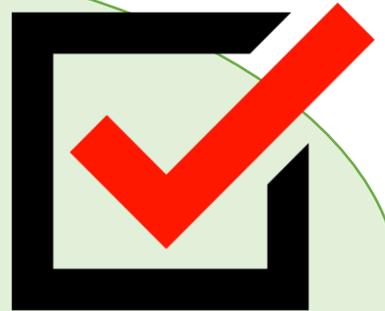
他の色もみたことある…
何色あるのかな？

何について調べるか？までを考える

何もうかばなかったら
パラパラしてみる

百科事典や図鑑をパラパラめくって、
気になった言葉や写真(絵)のページに「ふせん」をはろう。

ふせんが5枚くらいになったら、
そのページを読んでおもしろかったことや、
人に教えたいと思ったことをメモしよう。



2、知りたいこと、調べたいことをかいてみよう

知りたいこと、ふしぎに思ったことを整理すると
「調べたいこと」「自分が思うこと」がはっきりしてくるよ！
そこから調べ方、まとめ方を考えよう。

こまっていたり、わからないことがあったら、それも書いておこう。

テーマ あさがお

どんなことを調べるか？(知りたいこと、ふしぎに思ったこと)

あさがおの色や形、もようはどんなものがあるのか

じぶんの考え

色は4~5色くらい。形、もようは、知っているものがひとつだけなのでわからない

やり方・調べ方

本で調べたりお花屋さんいきいてみる。家の近くでどんな「あさがお」があるかさがしてみる

まとめ方(どんな見せ方、形にするのか)

調べたことはノートに1枚ずつまとめる。見つけた「あさがお」は、1種類ごとカードにする

こまっていること・わからないこと

どんな本で調べたらいいのか？どこに行けばたくさんの「あさがお」が見られるのか？

3、実際に調べよう

これから何をするのかを書いて、
ひとつようなものや、時間、場所などをかくにんしよう。

調べる方法	本で調べる・人に聞く(お花屋さん)・自分で探す
用意するもの	メモ・色えんぴつ・カメラ
場所	図書館・花屋さん・家の近所
時間	あさがおのさいている時間



★調べる方法

本でしらべる

- どんな本に知りたいことがのっているか？
- どこでその本をさがすか？



インターネットでしらべる

- どの検索サイト/公式サイトを使うのか？
- どんなキーワードで知りたいことをさがすか？



インタビューをする(人にきく)

- どんな人が知りたいことを教えてくれるのか？
- どこにいけば、会えるのか？(まずは連絡をしよう)



観察・実験をする(自分でやってみる)

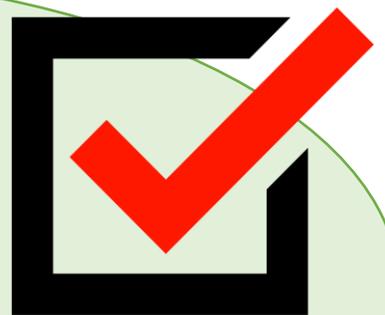
- 必要なもの・用意するもの(時間・場所・期間)を考える。
- 大人にそうだんする(自分だけではできないこと)



1つだけではなく、色々な方法で調べよう！

調べたことはかならずメモ！

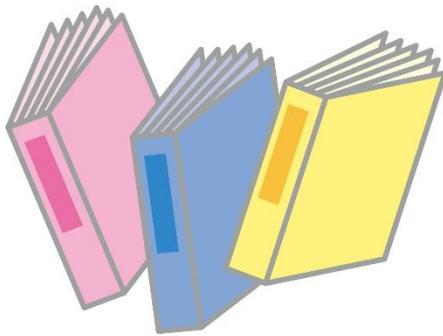
調べたことは忘れないようにかならずメモをすること！
あとで調べなおしたり、まとめたりするとき
ひつようになります。
実験や、観察、インタビューでの
きろくは、たいせつな情報にもなります。



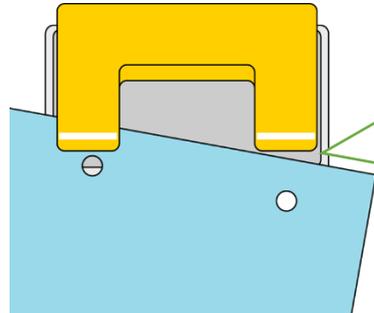
4、わかりやすくまとめよう

調べて書いたメモや記録をもとに、読む人が「見やすいか」「伝わりやすいか」を考えてまとめます。

★調べた内容は、「1つにつき1枚」にまとめる



ファイルを使う



穴をあけてひもでとじる

あとからページを足したり、順番をかえたりしたい時にべんりです。

★調べたことを見やすく書く

○写真や絵を入れる



○わかったことはかじょう書きにする

- ① _____
- ② _____
- ③ _____

たとえばこんなふうに

わかったこと

①基本は青色

→突然変異や組み合わせで他の色もできた

黄色やオレンジはほとんどない

②昼顔、夕顔、夜顔という名前の花もある。

→朝顔はヒルガオ科

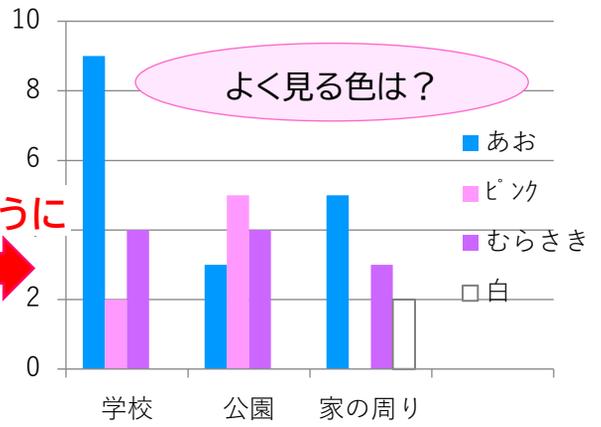
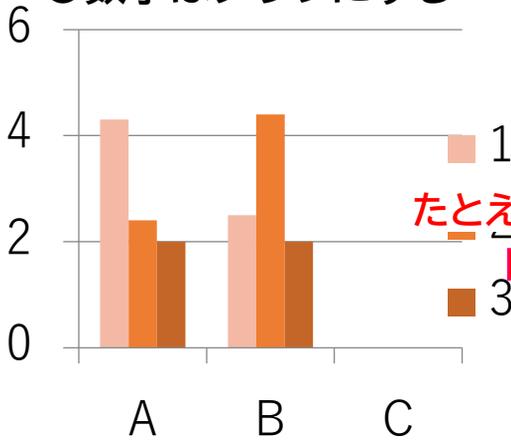
③最初は中国から種が薬としてつたわった

→花を見て楽しむために、いろんな色や形がつけられはじめたのは江戸時代

あさがおってどんな花？



○数字はグラフにする



○ランキングや、内容別で表にする

名前			

たとえばこんなふうに

すきなあさがおの色
ランキング

	女子	男子
ピンク	9	2
あお	3	9
むらさき	4	4

★まとめと感想を書く

○調べたことをふりかえって、
全体を通してわかったこと・わから
なかったことを書いて

「まとめ」にする。

たとえば
こんなふうに

○調べたり、まとめたりして

感じたこと = 「感想」を書く。

感想を書くと
自分の研究らしくなるよ！

○最初は薬として伝わったが、
江戸時代に変化朝顔が作られるようになり、
何百種類もの色や形がつくられた。

○変化朝顔の名前は、葉の色・葉の形・花の色
・花の形からつけられる。
名前を見ればどんな花なのかが、
だいたい分かる。



かんそう

色だけでなく、形や大きさなど
たくさんの種類があることが分かった。
すぐにあさがおとはわからないものもあって、
江戸時代からの長い時間をかけて、
こんなにも増えていることにおどろいた。
朝顔市があると聞いたのでいってみたい。

★タイトルを考える・もくじを作る

おもしろそう！と思ってもらえるようなことばで考えよう！
何をしらべたのか？どんなことをかいたのか？見やすくしよう！

タイトル

たとえば
こんなふうに

変化する
あさがおの
ひみつ

あさがおってどんな花？	1
よく見る色は	2
すきなあさがおの色ランキング	2
あさがおの名前のひみつ	2
まとめとかんそう	3
参考資料	4

もくじ

ページ数をつけるとわかりやすい！

★使った資料をまとめる＝参考資料

調べるときに使った、本やインターネットサイト、図書館の情報、
インタビューした人の名前を表やリストにしよう。

たとえば
こんなふうに

本やサイトの 名前	書いた人	出版社/ 出版年	サイトのアドレス/ 使った図書館
もっと知りたい アサガオ	赤木かん子	新潮社 2015年	高輪図書館
日本植物生理学会			https://jspp.org/hiroba/q_and_a/detail.html?id=113&key=&target=

インタビューをした人	インタビューをした 場所	観察した日時	観察した内容・ 場所
高輪花子さん (お花屋さん)	〇〇商店街 花屋 「フラワー高輪」	20〇〇年8月6日	アサガオの色調べ 〇〇小学校校庭

作品のさいごには、かならずかくこと！



★本は奥付(おくづけ)に注意!



本が古いと内容も古いので、今とちがっていることがあります。
いちばんうしろの奥付をみて、本が作られたのがいつなのか確認しよう

★インターネットだけで調べない!



インターネットはとても便利ですが、たくさんのサイト(情報が出ているページ)があるので、中には、まちがった情報がのっていることもあります。

他の方法とあわせて、より正しい情報をつめよう。



国や都道府県、会社などが責任をもって作っている
「公式サイト」を使って調べること。

子ども用の検索サイト
=「Yahooきっず」「学研キッズネット」
などからさがすと、
「公式サイト」や信頼できるサイトを
えらんでくれます。



★使った資料・場所・撮影者(写真など)はしっかり書こう



調べた記録をのこしておこう。

「だれが」「どこで」「何を使って」「どんなことを」調べたのか。それがわかると自分がかんばって調べた記録になります。協力してくれた人がいたら、その人のことも伝えよう。

★なるべく自分の言葉や文字で書こう!!



コピーにたよりすぎないこと。

調べたことを、そのままコピーするのではなく、自分で書くことが大事。

わかりやすく伝えるために、言葉や書き方を自分なりに考えよう。

★グラフや図など、資料をそのまま使ったときは、「本やサイトの名前」「書かれていたページ」を必ず書いて知らせよう。

メ モ

